

漁具漁網の被害について (お願い)

- 「**作業中の漁船**」、「**刺し網等の漁網**」、「**養殖施設**」等の敷設位置から “**一定の距離**” を！

漁業者は、漁業許可・漁業権免許等に基づき漁業を行っております。

昨今、「釣り仕掛け」、「ルアー」等による刺し網、かご及び養殖施設等への被害報告が多数寄せられております。

遊漁船業を営まれる際は、業種間のトラブルとならないよう**漁業施設から“一定の距離を確保”**するようお願いいたします。



【のり養殖施設】



【回収した「釣り仕掛け等」】



【定置網漁業】

資源保護の取り組みについて (お願い)

- 小さな魚はリリース！ “未来へ向けて“資源保護”**

漁業者は、資源保護のため「禁漁期間・禁漁区域等の設定」や「漁獲体長制限（小型魚の漁獲禁止・再放流）」に取り組んでおります。

また、栽培漁業（種苗放流）にも協力しており、宮城県内では**ヒラメ**と**ホシガレイ**の水揚げから協力金を拠出し、“**未来への投資**”を行っております。

資源保護（小型魚の放流）へのご理解とご協力をお願いいたします。

漁業者はこれらの魚について、漁獲禁止・再放流等を実施しております。

ヒラメ・・・北部地区30cm未満
中・南部地区35cm未満

マコガレイ・・・北部地区20cm未満
中部地区カレイ刺網目合
3寸8分以上を使用

ホシガレイ・・・全県下30cm未満

アイナメ・・・北部地区25cm未満

マアナゴ・・・全県下30cm未満

小型魚の保護に、遊漁者のみなさんもお協力願います。

遊漁の基本ル

ールとマナー

マナー編

いつまでも楽しい釣りをするためには、釣りに関するマナーについても考える必要があります。釣りに関するマナーをいくつかあげますが、その他にどのようなマナーがあるか皆さんでも考えてみてください。

安全の確保編

安全が確保されなければ、楽しい釣りも楽しくなくなってしまいます。釣りに行く前に釣りに関する安全の確保について考えてみましょう。

1 釣り場の自然環境を大切にすることを心掛けてください。空き缶、ビニール袋、エサの残り、釣り針や釣り糸はポイ捨てせず、必ず持ち帰りましょう。



ゴミはみんな持ち帰ろう~!



5 小さな魚はリリースし、資源の保護に努めましょう。



6 節度をわきまえ、必要以上に釣ることは避けましょう。



2 定置網や養殖いけすなどの漁業施設にボートを係留するのはやめましょう。また、港に置かれている漁具には近づかないようにしましょう。

3 定置網、養殖いけすなどの漁具、操業中の漁船の周囲では釣りをしないようにしましょう。



4 立ち入りが禁止されている場所には立ち入らないようにしましょう。



7 フグやヒトデなど目当て以外のものが釣れた場合には、陸に放置せず水に戻しましょう。



Topics 栽培漁業と遊漁

マダイやヒラメといった栽培漁業の主要対象魚種については、種苗放流の効果がある程度認識されているとともに、遊漁者によるこれらの魚種の採捕量が地域によっては無視できないレベルとなっていることが明らかになってきていることから、漁業者ばかりでなく、遊漁者も受益者として相応の負担をするべきとの議論が提起されています。このような中、マダイなどの魚種を釣る遊漁者から「協力金」という形で任意にお金を集めて、そのお金をマダイなどの種苗放流事業費に充てるといった試みが各地で行われています。



1 釣行に当たっては慎重に余裕のある計画を立てましょう。以下のサイトでは、リアルタイムで気象情報などを手に入れることができます。

●海の安全情報 (海上保安庁)
全国各地の灯台やライブカメラなどで観測した風向、風速、波高などをリアルタイムに提供
【パソコン用】 <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/>
【スマホ版】 <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



●川の防災情報 (国土交通省水管理・国土保全局)
全国各地の河川の水位、雨量レーダー等の情報
【パソコン用】 <http://www.river.go.jp/portal/#80>
【携帯版】 <https://www.river.go.jp/s/xmn0105010/>



低気圧が来ているからまた今度にするか...

2 1人よりも複数で釣りに行くようにしましょう。1人の場合は、家族に行き先や帰る時間を知らせましょう。

3 投げ釣りやルアー釣りをする際は、周りに人がいないかよく確認しましょう。

4 感電や電線に釣り糸が引っ掛かるおそれがあるため、電線の近くでは釣りをしないようにしましょう。

5 ボート釣りの際は、釣行ルールを守りましょう。



6 釣りをするときはライフジャケットを常時着用し、防水バック入り携帯電話などにより適切な連絡手段を確保しましょう。事故・海難時には118番（海の緊急通報用電話番号）を有効に活用しましょう。

防水ケースに携帯入れた?



つければ浮くぞうライフジャケット



海のもしもは! 118番

